

湿原の植物

釧路湿原は希少な植物の生息地です。最も希少な植物のひとつとして、坊主頭のように見えるスゲの、ヤチボウズがあります。ヤチボウズは「湿地の坊主」を意味します。葉は秋に枯れて垂れ下がります。枯れた葉は気温が高いと微生物などに分解されてしまいますが、低温過湿の湿原では微生物の活動が活発ではありません。そのため多くのヤチボウズは、枯れた状態で残ります。冬には水が凍結すると植物が株ごと持ち上げられ、春には雪解け水が根元を満たして株周囲の土を洗い流します。そして枯草の間から新しい葉や茎が生育してきます。これを繰り返し、40～50cm の高さに盛り上がります。